

# 瀧口修造と マルセル・デュシャン

プレスリリース



マルセル・デュシャン《泉》1917/1964年 京都国立近代美術館蔵

## 展覧会情報

会期	2011年11月22日(火)–2012年1月29日(日)
会場	千葉市美術館 8階展示室、7階6-8 展示室
開館時間	10:00–18:00(毎週金・土曜日は20:00まで) ※ 入場受付は閉館の30分前まで ※ 開館時間は節電等のため変更となる場合がございます
休館日	第1月曜日(12月5日)、年末年始(12月29日～1月3日)
観覧料	一般 800円(640円) 大学生 560円(450円) 小・中学生、高校生、障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料 ※( )内は前売・団体20名以上、および市内にお住まいの60歳以上の方の料金 ※ 前売券は、千葉市美術館ミュージアムショップ(11月13日まで)、ローソンチケット(Lコード:35146)、セブンイレブン(セブンコード:013-483)、千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」「都賀駅」「千城台駅」の窓口(1月29日まで)にて販売
主催	千葉市美術館
協力	慶應義塾大学アートセンター／富山県立近代美術館



瀧口修造、岡崎和郎《検眼圖》1977年 千葉市美術館蔵

## 展覧会概要

瀧口修造(1903-1979)は、1938年、『みづゑ』誌上に「マルセル・デュシャン(調革の論理)」を、1955年には『藝術新潮』に「異色作家列伝12:デュシャン」を発表し、日本のマルセル・デュシャン受容において先駆的な役割を果たしました。けれども瀧口にとってデュシャンが真に特別の存在となるのは、スペインのカダケスにあるサルヴァドール・ダリ宅を訪れた際に、このダダの巨匠との邂逅を果たしたのちのことです。以後瀧口はデュシャンに深く傾倒し、最晩年まで精神的な繋がりを保ち続けます。

ヨーロッパより帰国した瀧口は、「ジャーナリスティックな評論を書くことに障害を覚えはじめ」、私的な執筆・創作活動に身を投じていきます。そのなかで、デュシャンの異名「ローズ・セラヴィ」を冠した「オブジェの店」の構想、『マルセル・デュシャン語録』の編纂、岡崎和郎の助けをかりての《検眼圖》の制作など、最晩年に至るまで、デュシャンに触発された数々の試みと関わり続けました。それらの多くは、どちらかという私的な性格を持つものとも言えるかもしれませんが。ただ二人が出会った1958年から瀧口が没する1979年までの期間は、世界的にデュシャンに対する関心や評価が高まっていった時期とちょうど重なるため、瀧口の試みも、私的な領域にとどまらない影響力を持ちました。

本展は、300点を超える作品や資料をととして瀧口修造とマルセル・デュシャンの交流を紹介し、デュシャンが瀧口に与えた様々な影響を探ります。第1部で「大ガラス」を未完のまま放棄した1923年以降のデュシャンの作品を展示し、第2部では瀧口とデュシャンの具体的な交流やつながりを、二人の作品や写真・書簡等の資料によって編年順に跡づけていきます。また第3部では、ジャスパー・ジョーンズ、マン・レイ、荒川修作、岡崎和郎をはじめ、瀧口が交友を結んだ14人の作家たちによる、瀧口ゆかりの作品およびデュシャン関連作品を展示します。



マルセル・デュシャン  
『マルセル・デュシャン語録』のための《プロフィールの自画像》の原画  
1967年 富山県立近代美術館蔵

関連企画

■コンサート

「高橋アキ・ピアノ・リサイタル―ケージ・武満・実験工房」

演奏：高橋アキ(ピアニスト)  
 ジョン・ケージ「マルセル・デュシャンのための音楽」をはじめ、瀧口修造ゆかりの作曲家によるピアノ曲を、現代音楽の第一人者が演奏。

12月3日(土) 14:00より(13:30開場)  
 1階さや堂ホールにて

※ 要事前申込み

[申込方法]往復はがきに、郵便番号・住所・氏名・電話番号、参加人数(2名まで)を明記の上、〒260-8733千葉市中央区中央3-10-8 千葉市美術館 企画係まで。(11月25日(金)必着)  
 申込多数の場合は抽選。

■記念講演会

「瀧口修造とマルセル・デュシャン」

講師：巖谷國士(フランス文学者・明治学院大学名誉教授)  
 12月11日(日) 14:00より(13:30開場)  
 11階講堂にて/先着150名/聴講無料

■映画上映会

「死なない子供、荒川修作」

「三鷹天命反転住宅」を中心に荒川修作の作品世界を紹介するドキュメンタリー映画。

監督：山岡信貴、ナレーション：浅野忠信、2010年作品、80分  
 1月15日(日) 14:00より(13:30開場)  
 11階講堂にて/先着150名/聴講無料

■展覧会

「瀧口修造の光跡 III: 百の眼の物語」

12月6日(火)~12月25日(日)  
 会場：9階市民ギャラリー 開館時間：美術館と同じ  
 入場料：無料  
 瀧口修造のデカルコマニー40点を、1960年頃から晩年まで年代順に展示し、その色彩や文様の生じ方などの変遷をたどる。土淵信彦氏がそのコレクションにより毎年企画・開催している瀧口展の第3回展。

■市民美術講座

「1923年以降のマルセル・デュシャン」

講師：水沼啓和(当館学芸員)  
 12月17日(土) 14:00より(13:30開場)  
 11階講堂にて/先着150名/聴講無料

「瀧口修造の2つの旅とデュシャン」

講師：水沼啓和(当館学芸員)  
 1月21日(土) 14:00より(13:30開場)  
 11階講堂にて/先着150名/聴講無料

■ギャラリートーク

担当学芸員による-11月23日(水)、1月9日(月・祝) 14:00より  
 ボランティアスタッフによる-会期中の毎週水曜日  
 (11月23日をのぞく) 14:00より

DIC 川村記念美術館との提携

◆チケット半券提示による相互割引

DIC 川村記念美術館で開催される「視覚の実験室 モホイ=ナジ/イン・モーション」と「抽象と形態:何処までも隠れないもの」の会期中に、相互割引を行います。対象チケットの半券(有料券のみ)をご提示いただいたお客様には、入場料を割引させていただきます。

千葉市美術館 一般 800円→640円 大学生 560円→450円  
 DIC 川村記念美術館 一般 1200円→1000円 学生・65歳以上 1000円→800円

千葉市美術館

11/22 瀧口修三とマルセル・デュシャン 1/29

相互割引 ↑↓

↑↓ 相互割引

DIC 川村記念美術館

9/17 視覚の実験室 モホイ=ナジ/イン・モーション 12/11 1/14 抽象と形態:何処までも隠れないもの 4/15

◆無料往復バス

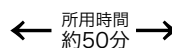
「瀧口修造とマルセル・デュシャン」展と DIC 川村記念美術館の2つの展覧会の会期が重なる期間の土・日曜日に、両館を往復する無料バスを運行します。

無料バス運行日	
11月	25, 26
12月	3, 4, 10, 11
1月	14, 15, 21, 22, 28, 29,



千葉市美術館発  
 13:00 / 15:00

美術館エントランス前から発着



DIC 川村記念美術館発  
 14:00 / 16:00

美術館無料バス乗り場から発着

同時開催

所蔵作品展「実験工房の作家たち」

11月22日(火)～2012年1月29日(日)

同時開催の「瀧口修造とマルセル・デュシャン」にちなみ、瀧口修造が結成に関わり、今年結成 60 周年を迎える実験工房・造形部門の作品を展示します。

次回展予告

「所蔵作品展：寄贈・寄託作品展」

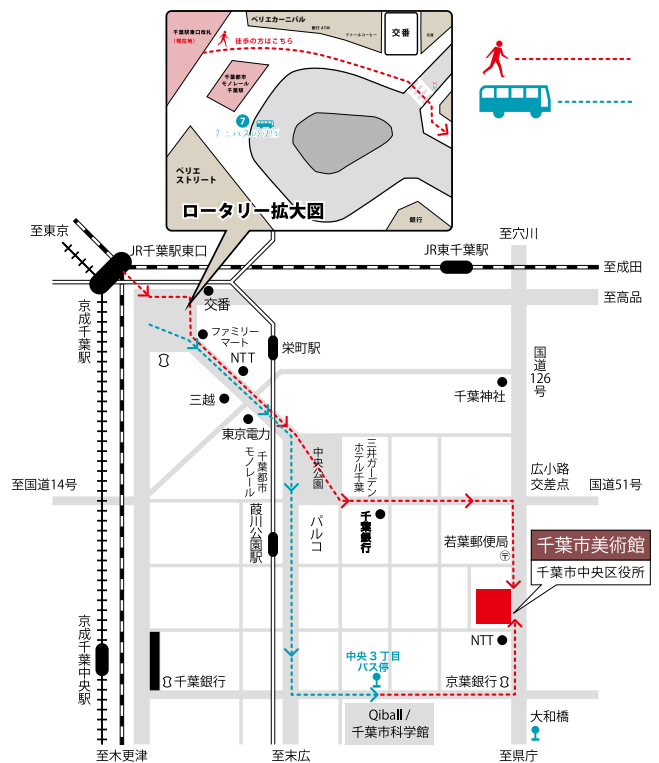
2012年2月4日(土)～2011年2月26日(日)

交通案内

千葉市美術館  
〒260-8733 千葉市中央区中央 3-10-8  
Tel. 043-221-2311 (代)  
FAX. 043-221-2316  
<http://www.ccma-net.jp>



- ◎ JR 千葉駅東口より
  - ・徒歩約15分
  - ・バスのりば ⑦ より大学病院行または南矢作行にて「中央3丁目」下車徒歩約3分
  - ・千葉都市モノレール県庁前方面行「<sup>よしかわ</sup>葭川公園駅」下車徒歩約5分
- ◎京成千葉中央駅東口より徒歩約10分
- ◎東京方面から車では京葉道路・東関東自動車道で宮野木ジャンクションから木更津方面へ、貝塚 IC 下車国道51号を千葉市街方面へ約 3km、広小路交差点近く
- ◎千葉市中央区役所と同じ建物です
- ◎地下に区役所と共有の駐車場がありますが、混雑が予想されますので、なるべく公共の交通機関をご利用ください



## 『瀧口修造とマルセル・デュシャン』展 ご紹介のお願い

展覧会広報用として作品画像をご用意しております。是非、本展をご紹介しますようお願いいたします。  
ご紹介いただけます場合は、別紙の申込書に必要事項をご記入の上、FAX にてご連絡下さい。  
使用はお申し込みの通り1回限りとし、内容をご了承ください。



1. マルセル・デュシャン  
《泉》1917/1964年  
京都国立近代美術館蔵

2. マルセル・デュシャン  
『マルセル・デュシャン語録』のための  
《プロフィールの自画像》の原画 1967年  
富山県立近代美術館蔵



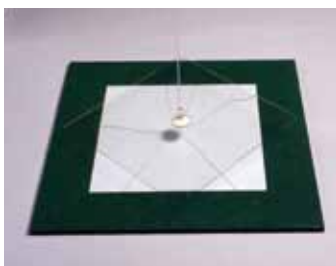
3. マルセル・デュシャン  
《トランクの中の箱（特装版）》  
1946年  
富山県立近代美術館蔵

4. マルセル・デュシャン  
《L.H.O.O.Q》  
1919/1964年  
高松市美術館蔵



5. 瀧口修造  
『マルセル・デュシャン語録』  
1968年  
富山県立近代美術館蔵

6. 瀧口修造、岡崎和郎  
《検眼圖》  
1977年  
千葉市美術館蔵



7. 岡崎和郎  
《マルセル・デュシャン  
(人名録より)》  
1970年  
作家蔵

8. 篠原有司男  
《思考するマルセル・デュシャン》  
1965年  
千葉市美術館蔵



## 「瀧口修造とマルセル・デュシャン」展 広報用画像データ・プレゼント用招待券申込書

### ■ 写真ご使用に際してのお願い

- \* 作品写真の使用は、本展のご紹介をいただける場合のみとさせていただきます。
- \* 写真のご利用は、1 申込について 1 回とし、使用後のデータは破棄してください。
- \* 恐れ入りますが、基本情報確認のため、広報担当まで一度原稿をお送り下さい。
- \* 掲載後、広報担当まで見本誌をご送付下さいますようお願いいたします。
- \* お手数ですが、招待券プレゼントの受付、発送などは、貴編集部にてお願いいたします。  
原則として、掲載紙をご送付いただきました時に招待券をお送り申し上げます。

千葉市美術館  
広報担当行  
FAX: 043-221-2316

貴社名：	媒体名：
ご担当者：	発行日予定：
ご連絡先電話：	発行部数：
FAX:	定価：
Email:	掲載予定コーナー名等：
画像到着希望日： 月 日 時まで	画像の掲載サイズ <small>（おおよそで結構です 例：10cm 四方、など）</small> ：

### ■ 画像データ申込（ご希望のデータの番号に○をつけてください。）

1. マルセル・デュシャン 《泉》 1917/1964年 京都国立近代美術館蔵
2. マルセル・デュシャン 『マルセル・デュシャン語録』のための《プロフィールの自画像》の原画 1967年 富山県立近代美術館蔵
3. マルセル・デュシャン 《トランクの中の箱（特装版）》 1946年 富山県立近代美術館蔵
4. マルセル・デュシャン 《L.H.O.O.Q》 1919/1964年 高松市美術館蔵
5. 瀧口修造 『マルセル・デュシャン語録』 1968年 富山県立近代美術館蔵
6. 瀧口修造、岡崎和郎 《検眼圖》 1977年 千葉市美術館蔵
7. 岡崎和郎 《マルセル・デュシャン（人名録より）》 1970年 作家蔵
8. 篠原有司男 《思考するマルセル・デュシャン》 1965年 千葉市美術館蔵

### ■ プレゼント用招待券申込

（ご希望の場合はチェックをつけてください）

5 組 10 名様 希望します。

（それ以外の枚数が必要な場合は別途ご相談下さい。）

チケット送付先

ご住所：〒

問い合わせ先

千葉市美術館 〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8

E-mail : mizunuma@ccma-net.jp（担当学芸員 水沼啓和）

isono@ccma-net.jp（広報担当 磯野 愛）

Tel. 043-221-2311（代表）/ 043-221-2313（直通）

Fax. 043-221-2316

HP. <http://www.ccma-net.jp/>